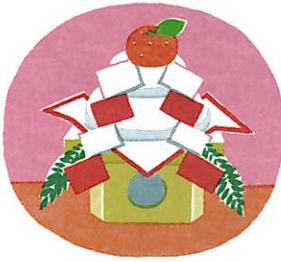


キラキラ★たまみず

令和2年1月20日

第64号

発行 [玉水まちづくり協議会]

発行責任者：会長 小立 記正
連絡先：☎・Fax (079) 506-3163

昨年の5月に、
平成から「令和」に年
号が変わり、市名も篠
山市から「丹波篠山市」
に変更されました。

今年もこれまで以上に、住民の方々の
思いや願いに応えていけるように進めて
いきたいと思っています。

11月29日(金)
楽しいひとときを過ごした
☆たまみずサロン



最初に、城北畠小学校1年生の発表「スイミー」
を見ました。大きな魚から自分たちを守るために、
みんなで力を合わせることの大切さを発表しま
した。かわいい1年生の発表に、参加者の方々の
やさしいまなざしと温かい拍手が贈られました。

その後、折り紙と一緒に折りました。「かめは、
こう折るんやで。」と教えてもらいながら、うれし
そうに折っていた皆さんでした。

明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで、お元気で
新しい年を迎えるましたことに、心よりお慶び申し上げます。
さて、わがまちづくり協議会は、今年度、新たに農業実習のた
めに神戸大学農学部の一年生や篠山東雲高校生を受け入れたり、
住友電工労働組合の家族と農業体験を通して交流を進めました。
このように、少しずつではありますが、活動範囲や人々とのつな
がりが広がっており、うれしく思っています。これも、城北地区
の方々の支えがあればこそ感謝しております。
これからも、城北の発展と皆様方の幸せにつながる活動を考え、
一歩ずつ確実に進めてまいりまますので、今後ともご理解とご支援
をよろしくお願ひいたします。

[玉水まちづくり協議会 会長 小立 記正]



1年生の子どもたちに、「肩た
たきや肩もみ」をしてもらい、
体も心もほっこりしました。

歌どと方玉
い、「タ水
まなやと童
しつた。か
しもに歌
いじふの
童謡」る会
をなさの



歌った後は、お弁当の時間です。
その前に、投稿のあった俳句の紹介もありました。お弁当やコーヒーを口にしながら、すてきな談笑の時間を持つことができました。



午後は、丹波篠山市東部地域包括支援センターの酒井裕美様を講師に迎え、健康についてのお話を聞いたり、楽しい健康体操をしたりして、体も心も少し若返ったように感じました。



かたもみでおばあさんが、「もうちょっとつよくてもいいよ。」といってくれて、やさしくしてあげたら、「きちんといい。」っていってくれてうれしかったです。

おりがみをつくっていたら、おばあちゃんが、「おしえてくれてありがとう。」といってくれました。とてもうれしかったです。

城北畠小学校の1年生より、
うれしい感想をたくさんいただきましたので、城北地区の皆様にお届けします。

おりがみでかめをつくって、おばあさんが、「いっぱいおしえて。」といったのでちょっとびっくりたいへんでした。だけど、おてつだいもちょっとべんきょうになりました。とてもたのしかったです。



9月28日(土) たまみず幼稚園運動会

かけっこや玉入れ、綱引きなど、4歳児も5歳児も力一杯取り組む姿に、見ていた私たちは大きな感動を覚えました。



とてもうれしそうに演技する子どもたちに、温かい拍手が贈られました。

みごとな組体操をやりとげた子どもたちの満足そうな様子が、印象に残りました。

10月27日(日) 秋の集い

今までの親睦運動会から「城北地区 秋の集い」へと名称を変えて実施されました。初めての試みなので、たくさんの参加があるのか大変心配されていましたが、子どもたちから高齢の方々まで多くの参加がありました。

ダンスで体をほぐす参加者の皆さん。

丹波篠山市のマスコット
キャラクター「まるいの
ふるまい」も、応援に
来ました。



玉入れや○×
ゲームなど、誰でも
気軽に参加できる種目がたくさんあったの
で、和気あいあいとした雰囲気が醸し出
されていました。



自治会長会から、「ふかしイモ」の
ふるまいがありま
した。



11月2日(土) JAふれあい祭り

J A 篠山支店の駐車場で行われた「ふれあい祭り」に、まち協もダーツゲームを出店しました。危なくないように、ダーツを投げて色で印をつけるようにしました。

ジャンケンやなぞなぞに当たると、そのゲームをクリアして景品をもらっていました。



「お楽しみ」に当たれば、
手作り工作に挑戦できま
した。

11月17日(日) 三世代交流 グランドゴルフ大会

すばらしい秋晴れのもと、城北畑小学校の運動場でグランドゴルフを楽しみました。大人の方たちにやさしく教えてもらいながら、子どもたちは伸び伸びとプレーしていました。



プレーの後、黒枝豆いりのおにぎりと豚汁をいただきました。
とてもおいしかったので、おなかが一杯になりました。

11月9日(土) 城北地区人権・同和教育研究大会



丹波篠山市長寿福祉課の
松本 ゆかり様を講師に迎え、
「認知症」について学びました。
認知症とは、



脳の病気によって起こる症状や状態の総称。いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、動きが悪くなったりして様々な障害が起り、日常生活に支障が出る。

「認知症になんて大丈夫！～お互い様の地域づくり～」と題して、講演していただきました。

ことで、その症例は、

- ・約束を忘れる
 - ・計画や予定がうまく立てられない
 - ・何度も同じ物を買ってしまう
- などです。

大切なことは、

- 認知症について正しく理解し、認知症だからと特別な対応が必要ではなく、一人の人として尊重されることが大前提。
- その家族は、抱え込まない、頑張り過ぎない、周囲に支援を求める。

農業収穫体験活動

とても大きなサツマイモにびっくりしました。



寺内のキラキラ農園でも、城北畠小学校の子どもたちやその家族、神戸大学農学部生、住友電工労組の家族の方々が、サツマイモや黒枝豆を収穫して、「実りの秋」を堪能しました。



地区紹介〔大谷〕



篠山鳳鳴高校前の交差点を北に進むと、道路の東側の山裾にたたずむ地区が「大谷」です。わずか10戸余りの地区ですが、1月に伊勢講、4月に春祭り、8月に念仏講などを取り行い、親睦を深めています。

また、定期的に獣害柵の点検を実施し、地区の保全にも努めています。

お豆がぷっくり

さっそく家に帰ってから、豆をゆでて食べました。入っていた豆は大きくて、ぷっかりしていました。弟もお母さんもお父さんも、おいしそうに食べていました。とてもやわらかかったです。

次の日も食べました。そのときも、前に食べたときと同じくらいつぶが大きかったです。来年もしたいです。楽しかったです。

[城北畠小学校児童より]



大売神社の秋の大祭では、年番としてその責任を果たすことができました。